
愛の孤独

明

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛の孤独

【Nコード】

N8139M

【作者名】

明

【あらすじ】

特別になし。詩ですしね。孤独になるには愛がいるし、愛は孤独にならないとできない一つの否定神学と否定神学批判みたいなものです。

私は絵に神を、

他と違う意味のない言葉で絵を描いていた。
多くの本質の兼ね備える内在として引いた。

地雷が埋める神様は避けている私に踏ます。
仮面の、地雷原の剥き出しの爆弾じゃなく、
地面に隠れる地雷を逃げてても意味がなくて。

私は私さえも

考えることができなくなるときがあるんだ。

君たちは地雷を探そうとする。どうして、
君たちは壁から出ようとする。どうして、
君たちは土を掘る。自由になるまで掘る。

ほらね、そんなの無駄な足掻きで
君は地雷を踏むといって自分の中、
自身や意味の解釈を見つけられる。

君たちのできないができるもう一つの神様、
君たちがよく知っている神秘的な奇蹟だけ、
でも、私の中にもいて、他者を与えてくる。

壁が聳え立ち振動しながら、人間様は
「ノックの音が聞えているよ」と喋った。
それとも、イメージを押し付けられないで？

赤の誘惑、自分はないものに欲しがって、
目に見える他者を求めようと、頭の中に、
「イメージを押し付けられないで」と。

イメージを押し付けられないでと押し付ける。
共鳴しない言葉じゃないの？ 私は歌う？

誰も指指さない言葉は宙に舞うと思った。
ただ本来、共鳴する筈の壁に書き込まれ。

相互の壁が鳴り響き、バイパスを通って、
君たちはいつでも孤独に人と話していた。
壁に囲まれ欠如した君たちは個を発見し、
共鳴の関係で自身で考えれると思うんだ。

私は一人じゃなく、一人さえいなかった。

君たちは美しい人になってと私を苛める。
反省の名の傲慢な大きな立派な愛だけに、
愛だと気づいたから、悲しくなったんだ。

私は踏みたくないのに自由になって踏む。
踊る。誘爆し君たちの関係性を破壊して。
迷惑や甘い時を奪うつもりなんてなくて。

だからこそ、芸術を遠く離れた、

愛を奏でる欠如の自慰を好んだ。
孤独の中の、否定の仮面を被る。
生きるために愛のない愛がいる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8139m/>

愛の孤独

2010年10月15日23時24分発行